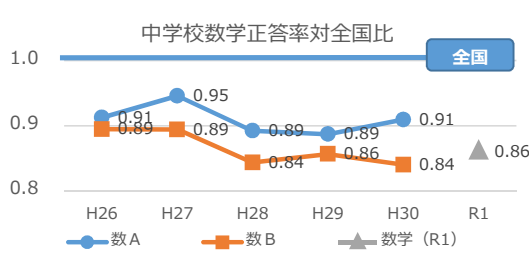
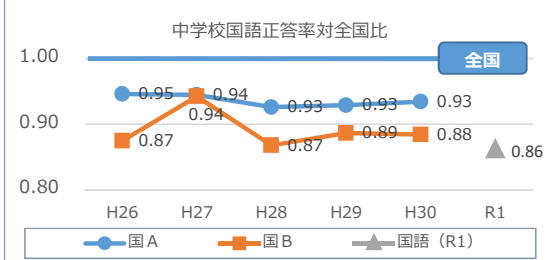
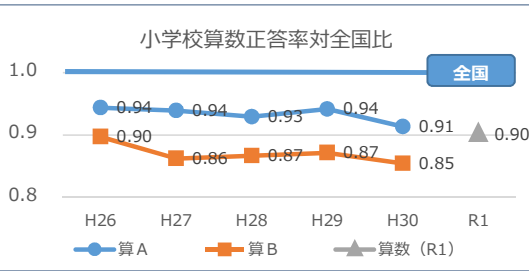
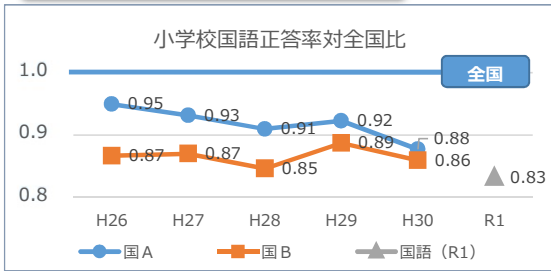


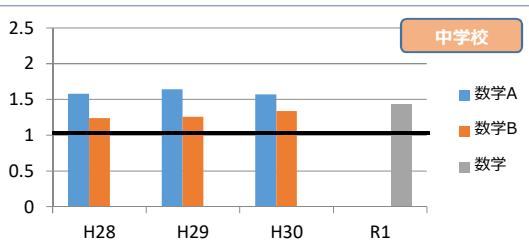
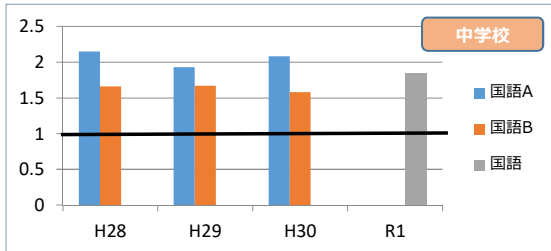
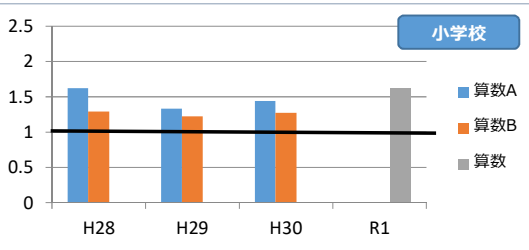
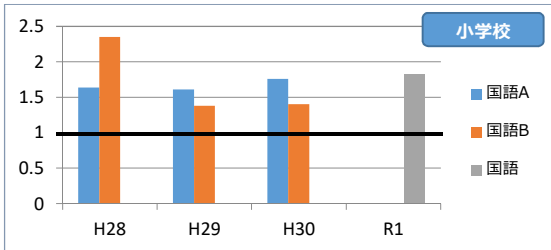
全国学力調査正答率経年比較



グラフは全国学力・学習状況調査における全国の平均正答率の値を「1」とした場合の本市の正答率の割合を示しています。

平成30年度までの全国学力・学習状況調査は、各教科がAとBの2区分に分かれていましたが、令和元年度より、AとBが一体となりました。

全国学力調査正答率40%以下の児童生徒について



正答率40%以下の児童生徒の割合について、全国の値を「1」として示しています。「1」よりも値が上がるほど、全国よりも正答率が40%以下の児童生徒の割合が高いことを示しています。全国の値と比較すると、国語科で特に差が大きく、令和元年度は、小学校では1.82倍、中学校1.84倍となっています。特に、正答率40%以下の児童生徒に対する指導・支援が喫緊の課題となっています。

これまでの学力向上に向けた主な取組み

【自主学習の支援】

- ・放課後学習支援事業（まなびサポート）の実施： 放課後の学習機会を提供し児童の基礎・基本の定着を図る（小3～5年生）

【岸和田市学力調査の実施】

- ・児童生徒の学力の状況と課題をより的確に把握し、それに応じた学習指導の充実等に役立てるため、令和元年度より岸和田市独自の学力調査を実施

【授業改善、指導力向上に向けた取組み】

- ・授業改善アドバイザーの派遣： 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりに向けた指導助言の実施（小中学校）
- ・教職員の授業改善に向けた研修（パッケージ研修）の実施： 教員の指導計画や学習指導案の作成時・公開授業等の授業実践時・今後に向けての改善方策検討時等、継続して指導助言を行う、授業改善に特化した研修（小学校）
- ・授業改善推進支援事業の実施： 校内研修を通じてさまざまな角度から授業改善の視点を学ぶために、大学教授等の専門家を定期的に派遣（中学校）

【読書活動の推進】

- ・学校図書館コーディネーターの配置： 児童生徒の読書意欲、読書習慣の形成や、児童生徒の豊かな心の育成とともに言語力の育成と、学力向上を図る（小中学校）



- ・学力低位層（上記正答率40%以下等）の底上げと落ち着いた学習環境づくりが喫緊の課題
- ・授業改善の取組み等を推進してきたが、学習の土台となる認知機能（記憶・言語理解・注意・知覚・推論・判断等）への対策が不十分



新たな対策が必要